大町病院サポーターの会会報

No70
2019年6月発行
大町病院サポーターの会
発行責任者　降旗　剛

満場一致で名称を変更

新会長に降旗剛さん　第10回総会特集

第10回市立大町総合病院を守る会総会が5月19日午後、大町病院南棟さくら講堂で開催された。渋田見博副会長・事務局長の司会で会議は始まった。

開会に当たり海川明文副会長より北村喜男会長からのメッセージが代読され、議長に選出された。

来賓として牛越徹大町市長、諏訪光昭県議会議員、中牧盛登市議会議長、井上善博病院長が見えられそれぞれの立場から祝辞を述べた。（要旨別掲）

渋田見副会長・事務局長から平成30年度事業報告が、髙橋博久次長から決算報告が、黒岩良介監事から監査報告がされ質疑の後拍手で承認された。続いて渋田見副会長・事務局長から令和元年度事業計画が、髙橋次長から予算案が提案され質疑の後決定された。例年の花壇の草取りはじめ環境整備事業、交流事業、情報発信の取り組みのほか、本年度は医師、職員との交流を兼ねて大町氷河を見る登山が計画された。

今総会の焦点となる守る会の名称変更が1年間検討の末、実施された会員アンケートで最も多かった「友の会」と「サポーターの会」のどちらにするか中島一郎幹事から提案がされ、討議、意見を求めた。会員から「『友の会』は病院に通院する患者の会のイメージを受ける。サポーターの会はだれでも参加できる気軽さと若者に受け入れられる名称ではないか」との意見が出され、採決の結果、満場一致で「サポーターの会」に決定した。これに伴って規約の改正が赤羽健次幹事から提案され可決された。役員改選は内山博次長が提案、満場の拍手で承認された。（別掲）役員人事では退任した北村喜男氏が名誉会長に、後任の会長に降旗剛氏（八坂）が選出された。任期は1年。

総会にあたり　故北村喜男会長からのメッセージ

第 10 回総会にご出席いただいた会員の皆さん、そしてお忙しい中ご臨席賜りましたご来賓の皆様に開会に当たり一言ご挨拶を申し上げます。

私達は改めてこの 10 年を振り返り新たな時代の道のりを探りたいと思います。平成 22 年 3 月 7 日県の『地域医療をともに考えるシンポジュウム』を大町で開催。アンケートで『私達と一緒に地域医療を守るための活動を一緒に頑張っていただける方』を募ったところ多くの皆さんの賛同が寄せられその中に地域医療の問題は行政、医療機関の努力も必要だが、住民の協力が重要だという意見が寄せられ、準備会を経て平成 22 年 5 月 30 日守る会設立総会が開催されました。設立趣意書では―全国で自治体病院の経営破綻、地域医療の崩壊が起きています。わたしたちの住んでいる大北地域の基幹病院である市立大町総合病院を取り巻く環境も例外ではありません。このような状況から『守る会』は市立大町総合病院を地域住民、医療、行政、福祉、企業、各種団体が一体となり問題解決のために話し合い、協力し合うことにしました。私達が目指すことは『地域の住民が対話をし、地域医療を守り育てる』ことです。さらに地域内外に視野を広げた情報の収集やノウハウ、実践の交流などを進めることにより、課題に貢献していきます。そのことを通して大町市が目指している『市民参加と協働のまちづくり』に寄与しますとしています。さらに活動の基本方針にボランティア活動を積極的に推進します。と明示しています。

これら設立趣旨を踏まえ年度ごとに病院関係者の意向、会員の要望などを取り入れながら四季折々の行事の開催で交流を深め、さらに懇談会の開催などで問題点を明らかにしてきたところです。

一番大切な医師確保に向けては平成 24 年 1 月 31 日県知事、県の健康福祉部長、2 月 6 日信大付属病院長へ病院関係者、市議会とともに医師派遣に関する要望活動、さらに休止に追い込まれた産科復活・産科医確保への署名では平成 27 年 3 月各地域、組織、街頭活動などで目標の 3 万人を超え、重複は在るにせよ 48,900 余人に達し、地域の熱い心と発信は復活への大いなる原動力となリ、総合診療科の設置となったのでした。しかし大町総合病院はこの一年資金不足比率 22%となった経営再生に向けて市議会では決算特別委員会での決算不認定、本会議では 8 対 7 での認定など多くの論議を呼んだところです。しかし存続への市民の思いは固く、改革の一歩として、職員の基本給、賞与の削減が団体交渉により妥結。この苦渋の決断に病院労組は（妥結結果は）『決して納得の行くものではありませんが、今回の結果に悲観的になるのではなく逆転の発想で自分たちの人件費を拠出することにより大北地域の医療を守り、その上で公立病院である市立大町総合病院を守ることになった。』と表明しました。『市民の命を守るため！』これら医療関係者、職員の英断に私達は共感とともに本気になって「守る」皆さんに「守る会」名称は献上すべきものと考えます。したがって私達は「守る会」の名称を発展的に解消し、新たな組織名を本日決定したいと思います。名称変更によっても趣旨、方針は何ら変わるものではなく、改めて当初の想いを進化すべきと考えます。平成から令和へ、この間の皆さんからのご協力に感謝とお礼を申し上げ、新しい時代にふさわしいさらなる発展を期待しご挨拶とさせていただきます。　　令和元年 5 月 19 日　　会長　北村喜男

北村喜男前会長は５月 29 日、午後６時 30 分逝去されました。ご冥福をお祈りします。
次号で守る会活動に尽力された故北村喜男前会長の特集を組みます。

大町病院サポーターの会　会長就任の挨拶

降籏　剛

5月19日に行われました総会におきまして、北村会長さんが勇退され、後任として大役をお引き受けすることになりました。もとより若輩の私でございますが、役員、会員の皆様からお力添えをいただきながら、微力ではございますが、全力で任務を全うしてまいりたいと思いますので宜しくお願いします。

さて、地域の医療を守るうえで、大町病院は、大町市のみならず大北地区にとっても、なくてはならない大変重要な病院です。現在、大町病院では、改革プランに沿って、職員の皆さんを中心に経営改善に取り組んでいますが、結果が出るまでには、一定の時間が必要だと思われます。会におきましても病院の職員の皆さんと気持ちをひとつにし、今後どんなサポートが出来るのか、皆さんと一緒に考えながら支援して参りたいと考えております。

この会は発足して10年目となり、個人会員300名、35団体で組織されており、大きな組織となりましたが、地域の皆様からも、どうか温かなご支援を賜りますよう、お願い申し上げ、就任の挨拶とします。どうぞ、よろしくお願いします

新　役　員

名誉会長　北村　喜男	幹　事　伊藤　芳行　（大町）	幹　事　　（松川）
顧　問　種山　博茂	幹　事　島田　元実　（大町）	幹　事　　（池田）
会　長　降籏　剛	幹　事　中島　一郎　（大町）	幹　事　西沢　剛　（市職労）
副会長　海川　明文	幹　事　若林　茂男　（大町）	幹　事　田中　雄貴　（病院労組）
副会長　柳澤　英幸	幹　事　西澤　和保　（大町）	幹　事　興国　和美　（女性団体）
副会長兼事務局長　渋田見　博	幹　事　大日向　明　（社）	幹　事　赤羽　健次（体育協会）
次　長　塩原　義夫	幹　事　太田　美知子（平）	幹　事　村山　潤　（大町岳陽高）
次　長　川上　晴夫	幹　事　松尾　忠久　（平）	幹　事　坂井　征洋　（病院）
次　長　相澤　文人	幹　事　清水　あさひ（常盤）	幹　事　鳥羽　嘉明　（病院）
次　長　内山　博	幹　事　鈴木　佳幸　（常盤）	幹　事　西村　彦一　（薬剤師）
次　長　高橋　博久	幹　事　酒井　孝芳　（美麻）	監　事　黒岩　良介
幹　事　小林　千恵子（大町）	幹　事　篠崎　久美子（白馬）	監　事　西澤　忠司
幹　事　江津　悌雄　（大町）	幹　事　田中　栄一　（白馬）	
幹　事　丸山　令江子（大町）	幹　事　小池　利治　（小谷）	

平成 30 年度決算

収　　入　　（単位：円）

科　　目	予　　算	決　　算	増　減	積算内訳
繰　越　金	234,624	234,624	0	
会　　費	270,000	340,000	70,000	個人271人団体35
負　担　金	520,000	550,500	30,500	地域公設医療機関支援活動、参加者負担金
寄　付　　金	10,000	45,420	35,420	野草売上金、個人寄付
雑　収　　入	5,376	1,003	-4,373	
計	1,040,000	1,171,547	131,547	

支　出　　（単位：円）

科　　目	予　　算	決　　算	残　額	積算内訳
謝　　礼	150,000	65,000	85,000	講師等謝礼、高所作業車依頼等
事　業　費	430,000	428,367	1,633	諸交流会、イルミネーション、コンサート
使　用　料	20,000	0	20,000	
印　刷　費	20,000	19,740	260	諸印刷
通　信　費	200,000	187,371	12,629	会報郵送代、ハガキ
旅　　費	20,000	3,000	17,000	市外出張旅費
保　険　料	20,000	5,100	14,900	ボランティア保険等
消耗品費	70,000	58,824	11,176	事務用品、インク、封筒、花壇整備用品
食　糧　費	60,000	55,508	4,492	懇談会、医師懇談会、作業、お茶・菓子代
予　備　費	50,000	3,216	46,784	
計	1,040,000	826,126	213,874	

総収入 1,171,547－総支出 826,126＝345,421（円）次年度繰越

平成 30 年度会計監査報告

1　実施日　　4 月　15 日
2　場　所　　大町病院小会議室
3　監査項目　金銭出納簿、通帳および証拠書類
4　立会人　　渋田見　博副会長・事務局長　　高橋　博久事務局次長
5　監査結果　上記事項について適正に処理されていることを認めます。

会計監査　西 澤　忠 司　　㊞
黒　岩　良 介　　㊞

来賓として祝辞をいただきました

牛越徹大町市長、諏訪光昭県議会議員、中牧盛登市議会議長、井上善博病院長が臨席しそれぞれの立場から祝辞をいただきました。

牛越徹大町市長祝辞要旨

29 年度決算は資金不足比率が 20%を超えたが、『健全化計画』に基づき 30 年度は病院利用者の増加、診療報酬の増、給与削減など緊急対策、人員の適正化による人件費抑制など様々な対策を講じてきた。収支の大幅な改善が予測される。無くてはならない大町病院を存続させてゆく。守る会の名称変更は良い名称となることを期待する。

諏訪光昭県議会議員祝辞要旨

大町病院の現状は大変厳しい状況だが守る会結成当時から厳しい状況だった。産婦人科の分娩再開を求める要請署名は短時間のうちの集約がされた。守る会の存在が示された取り組みであった。県を通して大町病院の再生に協力していく。

中牧盛登市議会議長祝辞要旨

大町病院の一番の敵は中牧と言われているようだが大町病院を一番心配しているのは私だ。議員の先頭に立って再生に頑張りたい。

守る会の様々な取り組み、力強い活躍に敬意を表します。大町病院は大北地域に無くてはならない病院だ。3 月に決定された『健全化計画』をしっかりと取り組んでゆきたい。

井上善博病院長の祝辞　　10 年前より医師 8 人増加

市立大町総合病院守る会第 10 回総会が本日開かれますことを、大町病院の院長として心よりお喜び申し上げ、また感謝いたします。

大町病院を守る会の第 1 回総会は今回が 10 回目ですから、2010 年（平成 22 年）に開催されております。その頃の大町病院は内科医師が 3 人に減少し診療制限を行い、大きく経営が悪化しておりました。当時の病院事業管理者の赤羽先生は新任医師歓迎会の席上で「経営状態は過去最悪、病院崩壊の瀬戸際」と危機感をにじませておられました。その後大町病院の経営は、平成 23 年度は一時的に黒字決算となりましたが、以後も赤字決算が続き、ついには平成 29 年度の決算結果から資金不足比率が 20%を超えたため、経営健全化計画を総務省に提出するように求められました。この経営の悪化は 25 年ほど前に建設した東病棟や耐震改修、南棟、職員宿舎、そして CT,MRI 等の医療機器の償還がかさんだ事に加え、医師不足が続いたため医業収益が増えなかったことが大きな要因と考えられます。議会や市民の皆さんには大変ご心配をおかけしておりますが、漸く風向きが変わり

始めました。医師が増えてまいりました。平成 22 年 3 月末で常勤医は 19 人でしたが、平成 31 年 4 月には内科総合診療科が初期研修を済ませた専攻医 2 人を含めますと、8 人と大幅に増え、更に加えて、信大総合診療科の指導医の先生が 2 人ほぼ常勤医として勤務していますので、内科総合診療科は 10 人の体制となりました。また、今年度の初期研修医は 4 人在籍し、以前に比べ若手の医師が多く、病院に活気が出てきております。平成 30 年度は職員の給料や賞与を削減するといった、厳しい措置も行いましたが、医業収益そのものが前年度に比べ伸びたため、医業収支は大幅に改善しそうです。資金不足比率も 20%を切る可能性が出てきました。今後は経営健全化計画を着実に実行し、長期にわたる経営の安定化を図りたいと考えております。守る会の皆さんにおかれましては、病院と住民とのパイプ役として、新入職員の歓迎会や焼き肉会、キノコ狩り、イルミネーション、雪遊び交流会等さまざまなボランティア活動を行っていただいております。また、昨年は議会での大町病院の経営に関する質疑をもとに厳しいご意見もいただきました。守る会の名称を再検討されておられるそうですが、名称が変わりましても引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。以上で総会の挨拶とさせていただきます。

サポーターの会　今年度の具体的な事業の取り組み

◇**会員の拡大**

重点課題として 50 人を目標に拡大を図ります。

◇**医師・職員家族との交流会**

夏　7 月　　日（土）12 時 30 分～・・バーベキュー　　参加費・・・500 円

7 月　　日（日）　　大町氷河を見る登山・・・実費

秋 10 月　日（日）・・キノコ狩り（大黒町有林）参加費・・・500 円

冬　1 月又は 2 月の（土）・・雪遊び「かんじき、ソリ・スキー」参加費・・500 円

◇**地域懇談会・講演会**・病院の医師をお願いし講演と懇談会をセットで開催

◇**病院祭のお手伝い**　5 月 26 日（日）9:30 開会

◇**研修医・生への守る会の紹介、大町案内・交歓会**

◇**役員学習会**

◇**花壇の草取り**　８月１１日（日）　午前 6 時 30 分玄関前集合

◇**庭木剪定・ガーデニング**　１０月　６日（日）　午前 9 時玄関前集合

◇**ありがとうメッセージの開扉**　８月２日（金）　　２月７日（金）

◇**イルミネーションの設置**・・・１１月　　日（日）午前 10 時～

点灯・・・１２月　　日（　）午後 18 時～

◇**会報の発行**

会費納入等のお願い　令和元年の会費納入を同封の郵便振替用紙でお願いします。総会や病院祭、前年度中に収められた方は結構です。なおカンパなどを検討いただければ幸いです。また新規会員を募集中です。お声掛けをお願いします。問い合わせは高橋次長 090-4054-2747 まで。

令和元年度予算

収入の部　　（単位：円）

科　　目	金　　額	積　　算　　内　　訳
繰　越　金	345,421	
会　　費	300,000	個人 230 人　団体 35
負　担　金	520,000	市地域公設医療機関支援活動、参加者負担金
寄　付　金	10,000	
雑　収　入	4,579	
合　　計	1,180,000	

支出の部　　（単位：円）

科　　目	金　　額	積　　算　　内　　訳
謝　　礼	150,000	講師等謝礼、高所作業車依頼等
事　業　費	450,000	夏、秋・冬交流会の企画運営、イルミネーション、研修医等交歓・交流会、ガーデニング等
使　用　料	20,000	講演会、懇談会会場使用料
印　刷　費	40,000	会報印刷、封筒印刷、議案書印刷等
通　信　費	220,000	会報郵送代、ハガキ代
旅　　費	20,000	出張旅費
保　険　料	20,000	ボランティア・行事保険掛け金
消耗品費	80,000	事務用品、インク、花壇整備用品他
食　糧　費	60,000	医師懇談会、作業お茶・菓子代
予　備　費	120,000	
合　　計	1,180,000	

公開講演会に 80 人余
健康で長生き新津先生がお話　腎臓は寿命の元

総会に引き続いて新津義文先生による公開講演会が開催されました。テーマは「腎臓を守って健康寿命を伸ばそう」―腎臓が寿命の鍵を握っている―とでいして約 1 時間に亘り講演いただきました。

蛋白尿が陽性の人は死亡リスクが高くなる、結果、病気になりやすい。◯脳の血管・・脳卒中（脳梗塞、脳出血）　◯心臓の血管・・心筋梗塞、脳出血　腎臓が悪くなる元の病気は糖尿病、慢性腎炎、腎硬化症、嚢胞症　減糖、減塩、減量、禁煙、アルコール制限に注意を！

花壇の草取り、プランターへの花植えに 30 人

5 月 19 日、午前 9 時から病院周辺の花壇の草取りとプランターへペチュニアの花 90 鉢を植えました。天候に恵まれ会員、多くの病院職員など 30 人余が参加し汗を流しました。高木哲先生と研修医の新安 祥也先生も参加いただきました。

病院のツリーにイルミネーション点灯
信州花フェスタ 2019 大町会場タイアップ記念花壇花咲き誇る

5 月 9 日より大町会場を盛り上げるため市内 6 か所でイルミネーションがセットされ、守る会も病院のもみの木にイルミネーションをセットしました。イルミ看板は松島明子さんの伝筆文字で描かれ、見事な電飾となっています。植栽はオキナグサ、エビネはすでに終わり、間もなくヤマユリが開花しそうです。　5 月 30 日、白、紫、青の三色のデルフィニウムが 80 本あまり植えられました。中島さん、神社さん、高橋さんの 3 人で手際よく植えられました。
また、寒さのためあじさいが枯れてしまった後にナガサワ・フローリストさんより新種のあじさい 7 本寄贈を受け植えられました。